

その他の議案

その他の議案	可・否	その他の議案	可・否
平成22年度一般会計補正予算(第7回)(第8回)	全員賛成	平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	全員賛成
平成22年度老人保健特別会計補正予算(第1回)	全員賛成	平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	全員賛成
平成22年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3回)	全員賛成	平成22年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)	全員賛成
平成22年度水道事業会計補正予算(第3回)	全員賛成	第二次須恵町国土利用計画の策定について	全員賛成
第五次須恵町総合計画基本構想の策定について	全員賛成	須恵町住民生活に光をそそぐ基金条例の制定について	全員賛成
須恵町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成	須恵町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成
土木工事の施工について	全員賛成	下水道工事の施工について	全員賛成
水道工事の施工について	全員賛成		

すまっ子未来塾



イラストレーター・田原ウーコ
1979年須恵町生まれ
<http://www.wooco.net/>

「東北地方太平洋沖地震」支援に向けての決議

平成23年3月11日午後2時46分ごろ、マグニチュード9.0を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生し、停電や火災、津波などの被害が拡大している。約22万人の犠牲者を出したスマトラ沖地震に匹敵する世界最大級の地震である。

町民約1万人の所在が分かっていない岩手県大槌町(おおつちまち)では、町長や職員多数と連絡が取れないなど、他にも行政機能がマヒし、被害実態の把握さえできない自治体が相次いでいる。

各地の避難所には、三十数万人の人がおり、阪神大震災時のピークを超えた。福島原発の状況も予断を許さない。

救援の拡大とともに、避難者数はさらに膨らみ、長期化するのは必至(ひっし)である。

本町は、平成17年の福岡県西方沖地震の際、全国各地から暖かい支援をいただいたことに、改めて感謝するところである。戦後最大の国難といえる今回の「東北地方太平洋沖地震」に対して、被災地支援のために、できる限りの支援行動を須恵町議会として行いたい。

以上、決議する。

平成23年3月17日

須恵町議会

シリーズ 議会用語

「決議」とは?

議会が行う事実上の意思形成行為で、議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決のことです。

決議の内容は、当該地方公共団体の公益に関する限り広範な問題も可能で、例としては、平和に関する意思を表明するもののほか、法的効果を伴うものがあります。

具体的には、意見書と同じように議員が発案して本会議にはかりませんが、賛成多数で可決されてもどこかに提出するということはありません。また、意見書とちがって法的な根拠はありません。

議長 長通信



藤石 豊 議長

災害復興を願う

若葉の候、緑が眩しい5月のさわやかな季節の到来に、議会も新議員が誕生して、心身共に活き活き感を覚える今日このごろ・・・

しかし、先の東北地方太平洋沖地震、津波それによる原発事故の発生と日本が建国以来、未曾有の大災害となりました。現地の状況が映り出される度に、胸が熱くなり何にも出来ない虚しさが募るばかりです。3月定例会最終日に、追加議案が提出され、須恵町として300万円の

義捐金を贈ることに、議員全員賛成で可決しました。一刻も早い復興を心から願っています。

感謝と御礼

さて、私も4月30日をもって1期4年間の議長任期を無事終えることができました。その間、議員各位は元より町当局をはじめ町民皆様のご理解とご協力に心より感謝と御礼申し上げます。今後も須恵町議会に對しまして、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

3名の議員が表彰を受けました



表彰を受ける 藤石 豊 議員



表彰を受ける 森 勝己 議員



表彰を受ける 長澤 誠司 議員

本会議の最終日に議場において、議員表彰の伝達式が行われました。

全国町村議会議長会
表彰15年
藤石 豊 議員
長澤 誠司 議員

福岡県町村議会議長会
表彰23年
森 勝己 議員

藤石豊議員は、議長、森勝己議員は、副議長、長澤誠司議員は、文教厚生委員会委員としてそれぞれの要職に就かれました。

多年にわたり町議會議員として自治振興発展に貢献されたための表彰です。

今後も、経験を生かされて夢のある「まちづくり」「地域づくり」に尽力いただきたいと思います。